

第3学年1組 算数科学習指導案

場所 3年1組

1 単元名 長さ（本時4／5）

2 本時の目標

長さの加減計算の仕方を考え、説明をすることができる。（思考・判断・表現）

3 展開

段階	児童（生徒）の活動	教師の活動
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習(1km=1000m)を確かめる 1 問題文を読み、題意をつかむ。 ・ 式は $1\text{km}500\text{m}+600\text{m}$ になるよ。 ・ km と m がまざっているからどうやって計算したらいいのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが道のりの概念を視覚的に理解できるように、拡大した挿絵の道のりの部分に色をつけ、一緒に確認する。 ・ 子どものつぶやきを捉え、km と m が交ざっていることを明示する。 ・ 学習課題を板書する。
課題 (3)	2 本時の学習課題を把握する。	
展開 (27)	<p style="text-align: center;">学校から目的地までの道のりはどうやって計算したらいいだろう。</p>	
展開 (27)	<ul style="list-style-type: none"> 3 自分の考えをノートに書く。 ・ $1\text{km}500\text{m}$ を m に直す。 ・ 500m と 600m を合わせる。 ・ 1km を m に直すやり方が分からない。 ・ 500m と 600m を合わせてから、km に直すやり方が分からない。 4 自分の考えを発表する。 ① $1\text{km}500\text{m}$ を m に直すと $1\text{km}500\text{m}=1500\text{m}$ $1500\text{m}+600\text{m}=2100\text{m}$ で $2\text{km}100\text{m}$ ② まず、500m と 600m を合わせると $1\text{km}+500\text{m}+600\text{m}$ $=1\text{km}+1100\text{m}$ $=1\text{km}+1\text{km}100\text{m}=2\text{km}100\text{m}$ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ずつノートを確認しながら、考えを書けていたら称賛する。 ・ 自分の考えとして、分からないこともノートに書くように指示する。 ・ 自信のない児童が発言できるように、チームの友達と確認したり、教え合ったりする時間をとる。 ・ 前の人の意見とのつながりを意識して発言できるように、「〇〇さんと似ている」「少しちがって」の言葉をつけて発言できるように促す。 ・ ①と②の2通りの考えの違いが分かりやすくなるように板書をする。 ・ それぞれのやり方のよさをたずねる。 ・ ①と②のどちらのやり方で計算をするのか明確にできるように、書き方の例を示してから作業を始める。
整理 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 5 練習問題に取り組む。 6 振り返りをノートに書く。 <li style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・ 長さの計算はおなじたんいにしてたすといいということが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートを確認しながら、本時の課題に迫った振り返りを書いている児童を確認する。 ・ 意図的指名で振り返りを発表させる。

4 評価

単位に着目して長さの計算の仕方を考えたり、説明したりしているか。（活動3、4のノートや発言から）